

3 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになることで、新しいひとの流れをつくる
 ⑥「いい塩梅のまち」池田山を活用した体験交流ツアーの実施
 →池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト

昨年度の「池田山を活用した体験交流ツアープロジェクト」の内容を引き継ぎ、「池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト」として実施。メンバーは、昨年度に引き続き池田町内お茶販売組合の若手数名や役場職員。

平成28年7月からサービスを開始したレンタサイクルを活用した「体験交流ツアーの企画及び実施」を行った。また、「ツアーコースに必要な施設設備の整備」として、お茶の体験場所として活用を検討中のさくら会館の改修工事を実施。

●KPI達成状況

- ・体験交流ツアーの設定数 <目標> 平成28年3月 1プログラム
 ⇒<結果> 平成29年3月 4プログラム
- ・育成したガイドの数 <目標> 平成28年3月 10人
 ⇒<結果> 平成29年3月 22人
- ・ツアー年間参加者数 <目標> 平成30年3月 300人/年度
 ⇒<結果> 平成29年3月 296人/年度
- ・西濃地域一人当たりの観光消費額(日帰り) <目標> 平成31年 3,700円

●進捗状況

・京都府和東町への視察

⇒ お茶を活用した体験交流ツアーの先進地、京都府和東町へ、池田町内お茶販売組合数名と役場職員で視察を行った。農業会館を活用した「和東茶カフェ」等主要施設を見学。



・体験交流ツアーの実施

⇒ 視察後のプロジェクト会議を重ね、池田町内お茶販売組合の若手数名が中心となり企画を行った。茶摘みや手作りのお茶ペットボトル制作、茶かぶき等の案も出たが、今年度は、棚橋牧場の協力の下、「お茶ラテ作り&飲み比べ」体験交流ツアーを3回実施。参加者は計23名。



・ツアーコースに必要な施設設備の整備

⇒ 体験交流ツアーを開催する施設として、町内の施設「さくら会館」を活用するため、さくら会館内部の畳、トイレ等の改修工事を行った。また、お茶に関する体験交流ツアーを行うにあたり、岐阜和傘職人が制作した野立傘を購入、今回の「お茶ラテ作り&飲み比べ」体験交流ツアーにも活用した。

・3月18-19日「池田まるっと体験交流ツアー」

⇒ 池野駅駅舎まちづくり工房「霞溪舎」のオープニングイベントに合わせて、計2日間の体験交流ツアーを行った。

2日間で15プログラム開催。参加者はレンタサイクルを借りて、町内各地で行われるプログラムを自由に巡る。参加者は計273名。



●今後に向けた課題

- ・4月以降のお茶摘み体験ツアー内容の検討。お茶シーズンの関係もあり、時期が限られてくることが課題。
- ・体験交流ツアーの受付等を行う事務局の設置、運営体制について、池田町内お茶販売組合内で行うには、ツアーの担い手が課題。

